神楽坂大學講座

第１５５回　神楽坂まちづくりすまいづくり塾

神楽坂よもやま話シリーズ　第１２２話

「神楽坂の歴史」 シリーズ第一回

～ 江戸時代以前の新宿・牛込の様相 ～

語り手 ： 北 見　恭 一 さん

（新宿区文化観光課文化資源係学芸員）

開催日： 平成２７年 ９月 ４日（金）
１９：００ ～ ２１：００

会場：高齢者福祉施設「神楽坂」1階 地域会議室
（新宿区矢来町104）
最寄り駅：東西線「神楽坂」（アユミギャラリー斜め前）

■ 江戸時代以前、中世の東京については資料が乏しく、特に絵画や地図など視覚的に見ていただける資料がほとんど無いため、具体的にイメージしずらいのではないでしょうか。しかし、この時代の新宿区域にもさまざまな歴史的な営みがあり、その後のまちの成り立ちに大きな影響を残しています。
伝説や伝承をもとに、地形、古社寺、石造品などの文化財をとおして、新宿、牛込の古代・中世について考えます。

■ 今なお「将門首塚」が祀られ、神田明神や築土神社の祭神にもなっている平将門。新宿区域にも伝説が残り、ゆかりの社寺があります。

■ 「八幡太郎」源義家も新宿区域に足跡を残しています。奥州征伐には新宿の地を通って行ったようで、ゆかりの地や神社があります。

■ 鎌倉幕府を開いた源頼朝は、石橋山合戦の後、房州を経て武蔵に入り、牛込の行元寺の千手観音像に詣でたと伝えられます。

■ 徳川将軍家以前に江戸城を築城し、市谷亀岡八幡宮を勧請した太田道灌は「山吹の里」伝説など、新宿区域に伝説やゆかりの地があります。

■ 牛込城築城、赤城神社勧請など、神楽坂の地を開発した牛込氏は、14世紀頃赤城山麓(群馬県)を本拠地とした大胡氏がこの地に移住し、地名をとって牛込氏と改姓したものです。

■ ふるってご参加ください。

■定員：約２０名

■参加費：１０００円

■主催：NPO法人粋なまちづくり倶楽部

■共催：神楽坂まちづくりの会

■参加申込み／お問い合わせ

粋なまちづくり倶楽部 事務局

電話 ０５０－３５５８－６２６０

ikimachi.setsumei@gmail.com

http://ikimachi.net/